

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立白岳中学校)

- ① 教科等 美術科    ② 学年 第1学年
- ③ 題材名 文字のデザイン
- ④ 本時の目標 見る人の気持ちを考えながら、形や色彩の効果を考え、名前のイメージについて分かりやすく美しい表現の構想を練ることができる。
- ⑤ 学習の流れ (6時間目/全11時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の目標を確認する。		
見る人の気持ちを考えながら、名前のイメージを分かりやすく美しく表現する方法を考える		
2 参考作品を鑑賞して、イメージを分かりやすく美しく表現する方法を考える。 ・参考作品を見て、どんなイメージをもったか発表する。 ・伝えたいイメージを分かりやすく美しく表現する方法について考え、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそのようなイメージをもったのか、作品の造形的な要素(形や色彩など)に視点をおいて分析させる。</li> <li>・書体や配色などの異なる作品を例示し、形や色彩の工夫によってイメージの伝わり方が変わることを確かめる。</li> </ul>	
3 各自のスケッチを小グループで交流し、イメージを分かりやすく美しく表現する方法を考える。 ・スケッチを見せながら、伝えたいイメージを発表する。 ・スケッチを見て、どんなイメージをもったか、伝えたいイメージを分かりやすく美しく表現するためにどんな工夫ができるか考え、交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを書いた付箋紙をスケッチに貼り付けさせておき、考えと表現方法を説明させる。</li> <li>・単なる作品批判ではなく、伝えたいイメージに近づけ、よりよい作品にするための方法を具体的に示すよう促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の性格を表す『やさしいイメージ』になるように曲線を多く使いながら形をまとめました。」</li> <li>・「スケッチの交流から形や色彩から多くの人々が共通に感じ取れるメッセージがあるのではないかと思いました。」</li> </ul> </div>	
4 見る人の気持ちを考えながら、伝えたいイメージを分かりやすく美しく表現する方法についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者からのアドバイスも参考にしながら、形や色の組合せ、用具の生かし方などについて構想をまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る人の気持ちを考えながら、形や色彩の効果を考え、名前のイメージについて分かりやすく美しい表現の構想を練っている。</li> </ul>
5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>〔発想や構想の能力〕 (行動観察, ワークシート)</li> </ul>

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 伝えたい内容を他者に美しく分かりやすく伝える表現を発想・構想することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- ワークシートや付箋紙を活用し、考えたことを整理させる。
- 〔共通事項〕に視点をおいて考えさせる。
- 個人思考、集団思考(小グループ、学級)の場面を設定する。